

ビジネスモデル特許を連続取得

「延長保証コストを予測するシステム」、「物品残価を予測するシステム」

2009年3月25日

あいおい損害保険株式会社（本社：東京都渋谷区恵比寿1丁目28番1号、社長：児玉正之）は、家電等の高額商品の販売時において、基本保証期間後の延長保証のコストを高い精度で予測する「延長保証コスト予測システム」、及び高額商品が販売されてから一定期間経過後に中古品市場で取引される実勢価格を高い精度で予測する「物品残価予測システム」についての日本国特許を相次いで取得（2009年1月9日付）しました。

当社では、業務の高度化や品質向上に向けた事務システム開発等に取り組んでおりますが、これらに関わるビジネスモデルの権利保護にも注力しており、2008年度における特許取得件数は国内外で8件となりました。

1. 延長保証コスト予測システム

【特許の概要】

家電等の高額商品の販売時において、基本保証期間後の延長保証のコストを高い精度で予測するシステム

【特許開発の背景】

家電等の販売時において、基本保証期間後の延長保証を販売することが一般化しています。基本保証は販売された商品全てに付帯されるのに対し、延長保証はそれを希望する購入者の商品のみが付帯されることから、対象データには量と質の違いがあります。

そのため、これまでの延長保証コストの予測は延長保証の実績コストだけで行うことが一般的でしたが、基本保証期間が満了した後に延長保証の故障が発生するというタイムラグがあり、延長保証の実績コストとこれから販売する延長保証の予測コストとの間に、大きな乖離が生ずるリスクがありました。特に、近年の家電等は構成部品の進化が著しく、延長保証コストの適正予測を一層困難なものとしていました。

【当該特許の特長】

本システムでは、対象データに量と質の違いのある基本保証データと延長保証データに共通な指標を考案するとともに、指標の実績値の推移を特殊手法で連結することで、購入者の修理請求が保証期間の満了直前に集中する実態を正確に反映しています。このように、基本保証と延長保証の連動一括型の分析とすることで、上記困難を克服しています。

2. 物品残価を予測するシステム

【特許の概要】

高額商品が販売されてから一定期間経過後に中古品市場で取引される実勢価格を高い精度で予測するシステム

【特許開発の背景】

中古品市場において、人気商品であるかそうでないかは中古品市場で取引される実勢価格に決定的影響がありますが、これまでは商品名のような分類型データを数量データと一緒に扱うことができなかつたため、予測精度には自ずと限界がありました。

商品名ごとに細分化されたデータで分析した場合には、大数の法則が有効に機能せず、特殊要因による異常値に左右されやすい傾向がありました。それを、何らかの見直し処理で克服しようとする試みもありますが、見直し処理という人為を介する分だけ予測精度は劣化してしまいます。

【当該特許の特長】

本システムでは、商品ラインナップごとの販売量を基に将来における中古品市場を想定し、それに商品名等の分類型データを他の数量データと同時一括して扱える数量化理論を応用することで、統計解析的な最適予測解を導く考え方をモデル化しました。今後の実務的展開は研究課題として検討していきます。

〔ご参考〕 2008 年度における国内外での特許取得状況

取得特許	取得国	概要
倒産確率予測システム	日本国	企業が1年以内に倒産する確率を予測するシステム
保険契約支援システム	中国	携帯電話やモバイル PC 等のあらゆる端末で保険の加入手続きが行えるシステム
保険金自動支払システム	日本国	傷病者の症状等の診断情報から保険金自動支払の可否を判断し、支払対象とした場合に自動的に保険金を支払うシステム
塗装用転写フィルム・塗装方法	日本国	車体等の部分塗装に用いる塗装用転写フィルムとその塗装方法
保険料の精算システム	日本国	代理店端末から代理店との保険料精算を即時（＝リアルタイム）に口座振替するシステム
顧客選別システム	日本国	WEB サイト経由の見込客情報を自動で選別するシステム
物品残価を予測するシステム	日本国	中古品市場で取引される実勢価格を高い精度で予測するシステム
延長保証コスト予測システム	日本国	延長保証のコストを高い精度で予測するシステム

以上